

第六回 衆議院鐵道比較線路決定ニ關スル法律案外七件審査特別委員會速記録(第一號)

明治二十七年五月二十二日午前九時二十七分開議

○委員長(佐藤里治君) ソレデハ本議ニ掛リマスガ、此議案ノ政府カラ提出ニナツタ線路ノ順序ヲ逐フテヤリマス、ソレカラ此議スル方法ハ此前ノ委員會デモ一讀會ノ上デ二讀會ヲ確定トシタヤウニ覺ヘテ居リマス、一逼決シテ矢張其後又確定ヲモウ一遍ヤル——斯ウ云フコトガ宜カラウト思フ、左様御承知アリタイ、鐵道比較線路決定ニ關スル法律案ノ則チ東京府下八王子ヨリ山梨縣下甲府長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道、此一讀會ヲ開キマス

○(田中源太郎君) 議案ノ順序ハ今御述ベニナリマシタ八王子線ヲ先キニヤラウト云フコトニナツテ居リマスガ、此線路ハ一番議論ノアル線路ト思ヒマス故ニ此議案丈ハ皆サン御揃ニナルカナラヌカ分リマセヌケレドモ、他ノ線路ヲ先キニシテ是ダケ後ニ議スルヤウニ致シタイ

○(菊池九郎君) 今田中君ノ御説デアアルケレドモ、一讀會カラ始メマスレバ先ヅ一讀會ヲ議シ了ツテ置イテ、斯ウ云フ議論ノアルノハ二讀會ニ讀會ハ後ト二廻シタラドウデス

○委員長(佐藤里治君) ドウデス、田中サンソレデ……

○(田中源太郎君) 一讀會ダケナラバ異存ハアリマセヌ

○委員長(佐藤里治君) ソレデハ一讀會ヲ開キマス

○(田中源太郎君) 一應政府委員ニ御尋シマス、此第四回ノ委員會ニ於テあぶと式ノアルニ拘ハラズ清内路線ヲ採ルト委員會ハ決議シマシタ、今度ハ其後御再調ニナリマシテ神坂線ト云フ所ガあぶと式デナイト云フコトヲ御選定ニナリマシタサウデ、あぶと式デナイヤウニナツテモ矢張西筑摩線ヲ採ルト云フコトニ極メテ本案ヲ御提出ニナツタヤウデスガ、ソレハドウ云フ理由デゴザイマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 御答致シマス、昨年比較線決定法案ノ出マシタトキニ西筑摩郡ノ方ヲ採ルト申シタノハ如何ニモ清内路線ハあぶと式デアリマスガ、あぶと式バカリデ清内路ヲ捨テ、西筑摩線ノ方ヲ採ルト云フノデハナイ、あぶと式ガアツテ且ツ其あぶと式ノ線路ハ甚ダ工事モ六ヶシク、工費モ從ツテ四百万圓モ一方ノ筑摩郡ニ寄リマスルモノヨリ餘計ニ掛カルト云フコトガ重モナル原因デ伊那線ヲ採ラヌナラヌト云フコトノ原因ニナツタデアリマス、然ルニ彼ノ議會ノ後ニ段々地方ノ人モ熱心ノ餘リニ此あぶと式ト云フモノガ重モニ議場ニ於テモ伊那線ニ反對スル理由ノ眼目ニナツテ居リマスカラ、之ヲドウカ除クコトガ出來タナラバ伊那線ノ方ガ宜キコトニナルデアラウカト云フ考ヲ有タレタ趣デアリマシテ、或ハ木曾ノ方ニ線路ヲ新タニ求ムルトカ種々ナコトニ力ヲ盡サレマシタ當時ニ、政府ニ置キマシテモ既ニ

議會ニ於テモ可成調査ノ足ラザルト思ハル、部分ハ更ニ調査ヲシテ貫ヒタイト云フ希望ハ自カラ議場ノ決議延期ト云フコトカラ現ハレテ居リマスルカラシテ、實ニ此長イ隧道ヲ造レバあぶと式ヲ避ケ得ルト云フコトハ分ツテ居ツタ始メヨリ全ク是ハ知レナカツタ事實デアナイデアリマシタケレドモ、如何セン非常ニ長イ隧道ヲ要スルニ從ツテ非常ナ巨額ノ資本ヲ投シナケレバ出來ヌモノデアルト云フコトガ分ツテ居リマシタカラ、殆ド之ヲ取調ベテ見タ所ガ比較上伊那線ガ宜シクアルト云フ見込ハナイト云フ觀念ハ初ヨリ分ツテ居ツタ、併ナガラソレ迄ニ全軌ノ人達ガ之ヲ望ム以上ハ又コナラニ於テモ十分調査ヲスルト云フコトモ必要ト存シマシテ昨年更ニ技師ヲ派遣シテ長イ隧道ノアル線路ヲ取調ベテ見タノデアリマス、所ガ其結果果シテ豫想致シマシタ通り五哩以上ノ長サノアル、然カモ四十二分ノ一ノ勾配ヲ有ツテ居ル隧道ヲ掘鑿シナケレバ其線路ガ出來ナイト云フコトガ分ツタノデゴザイマス、ト云フモノハ伊那ノ地方ノ方ハ高クシテ木曾ノ方ハズツト低クナツテ居リマスルガタメニ此隧道ヲ片勾配ニシナケレバナラヌ、既ニ五哩以上ノ隧道ハ其掘鑿工事ガ六ヶシイ上ニ片勾配ニナツテ居ル所ハ更ニ困難ヲ加ヘル譯デアリマシテ、從ツテ工費モ大ニ増ス見込デアリマスカラ段々豫算ヲ立テ、見マシタ所ガ、其結果伊那線ヲ採リマスルト云フト實際此長イ隧道ト云フモノヲ穿ツト云フコトニナリマスカラ、殆ド八百万圓程餘分ノ工費ヲ要スルデス、元來最初ニ此伊那線ノ方ニ就キマシテ彼ノ清内路ノあぶと式ヲ取調ベルト云フ考ノ起リマシタノハ木曾線ノ方ノ松本カラ中津川近傍ニ出マスル所ノ伊那線ハ人ノ云フ通りニ比較上人口モ少ナシ鐵道運輸上ノ見込モ薄イ所デアリマス、又伊那線ヲ若シ三河ノ國經過ノコト、シテ取調ベテ見マシタ、伊那ノ中ハ宜シウゴザイマスケレドモソレカラ三河ノ國ニ至リマシテハ所謂連山疊々ノ間ヲ潛ツテ、隧道亦隧道デアリマスルカラ、是モ比較上線路ノ工費モ少ナシ運輸上ノ見込モ少ナイ所デアリマスカラ、若シ伊那ノ方ヲ飯田近傍マデ線路ヲ持テ來ルコトガ出來、又ソレカラ先キハ中津川カラ名古屋ニ出ルト云フコトニナリマス、ト、丁度三河經過ヲ致シマス、伊那線ニ宜シイ部分トサウシテ木曾線ニ宜シイ部分ト兩方ニ宜シイ所ヲ引合セルコトニナリマスカラ、鐵道ノ經濟上カラ論ジテ甚ダ見込ガ立ツテアラウト云フノガ、抑清内路ヲ取調ベルト云フ原因デアアルノデゴザイマス、ソレデ成リ得ベキコトナラバドウカシテ線路ヲ續ケタイモノデアアル、大抵ノ工費ノ差額位ハ我慢モシナケレバナラヌト思フテ居リマスルデ、如何セン八百万圓ト云フノハ隨分巨額ノコトデ實ニ他ニ一線路ヲ拵得ル程デアリマス、且ツ線路ハ今ノ長イ隧道ノ方ニ致シマス、ト木曾線ヨリ短カクナリマス、併ナガラ木曾線ノ方モ是非線路ヲ短クスルノガ必要デアルト云ヘバ、諏訪カラ鹽尻ニ出マスル矢張線路ノ距離ハ大ニ違ハヌデ

出來ルノデアリマスカラ、線路ノ近クナルト云フコトヲ以テ此工費ノ……如何ニモ伊那地方モ必要ナ所デアリマスケレドモ、是丈ノコトデ是非シナケレバナラス、止ヲ得ズ誠ニ残念ナガラ矢張摩線ヲ採ルヨリ外ナイト云フコトニ決シマシタノデアリマス

○(菊池九郎君) 政府委員ニ御尋致シマスガ、此筑摩線ニ對シテ伊那線ノ工費ノ差異ノ生ズルコトハ是ハ暫ク措キマシテ、此清内路線ト神坂線ノ二ヲ假リニ採ルコトニスレバ清内路線ノ方ハ工事ガ比較シテ宜シト云フ見込カ、神坂線ノ方ガ宜シイカト此二ツニ就イテ御見込ヲ伺ヒタイ

○政府委員(松本莊一郎君) 唯今ノ菊池君ノ御尋ハ是ハ御答ニ苦シム譯ガゴザイマス、何故ト申シマスニ中央線ト云フモノハ抑最モ重キヲ軍事ニ置イテアルト云フコトハ是迄諸君モ御承知デアアル通りデゴザイマス、然ルニ清内路線ヲ採ルト云フコトニナリマスレバ工費上ノ難易ト云フコトハ暫ク措キマシテ、其方ノ目的ニ就イテハ甚ダ不満足ナモノデアルト云フコトハ能ク知レテ居ルコトデアリマスカラ、殆ド是ハ比較ノ點カラ申セバ言惡イノデ、ソコデ一方ノ隧道ヲ掘リ則チ神坂線ト云フモノハ清内路ニ較レハ金モ餘計カ、ルダケニ工事モ從ツテ困難デアリマスカラ、單一ニ經濟上カラ申セバ寧ろ清内路線ヲ採ル……如何セン外ニ何ニモ較ベルモノガ無ツタナラバ已ヲ得ズ工事ハ困難ニナツテモ神坂線ヲ採ランケレバナラスト云フ結果ニナラウト思ヒマス、比較上二ツノモノハ尙宜イモノガアルノデゴザイマスカラ、ソコデ強イテ此二ツノモノニ就イテ優劣ヲ論ズルコトハ餘程六ヶ敷カラウ、ドノ點ニ於テハト云フコトヲ極メテ往カナケレバ御返答ガ出來ナカラウト考ヘル

○(田中源太郎君) 此線ノ比較ニ就イテハ今松本サンノ御辯明デ分リマシタガ、八王子ト御殿場ノ比較、八王子ト御殿場ノ比較ハ軍事上デ八王子ヲ第一四期以後ノ……御調ニナツタヤウニ考ヘル、ソレデ經濟上カラ云フト八王子ト御殿場線トハ殆ド五百万圓程違フ、此五百万圓程相違アルニモ拘ラズ第四期ノ時ニモ八王子線ヲ採ルコトノ法案ヲ御提出ニナツタガ、今度御調ニナツタ岩淵線ハ殆ド六百五十六万八千八百九十圓ト違フト云フコトニナツテ居ル、ソレデ此線路ハ御殿場ハあぶと式ガゴザイマスガ、岩淵線ノハ線路モ餘程宜イト云フ、ソレデ其代ハリ八王子ノ方ニモあぶと式線路ヲ御用井ニナツタヤウニ承リマシタガ、是ダケ經濟上ニ狂ヒガアル、加ルニ八王子ハ甲武鐵道ノ私設ニナツテ居ル、サウシテ隨分買上等ニモ困難ナト云フコトノ難儀ガ一ツアル、是アルニモ拘ラズ岩淵御殿場ヲ捨テ、八王子ト前回同様ニ御採リニナルト云フコトハ軍事上ニ必要ト云フコトハ大略ハ伺ヒマシタガ、經濟ノ如何又買上等ノ困難ノ如何ニ拘ラズ、是非トモ此八王子ヲ採ルト云フ御辯明ハ一應簡單ニ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(兒玉源太郎君) 是ハ本員ヨリ御答申シマシタ方ガ御便利カ知ラヌト考ヘル、抑甲府八王子間ハ最モ軍事上ニ重キヲ置イテ居リマス、此岩淵線トナリマス東京カラ岩淵ヲ經テ甲府ニ達スル間ニ二箇所ノ危險ナ地ヲ經

過シナクテハナリマセヌ、即チ箱根以東ニ於テ國府津附近、箱根以西ニ於テ富士川附近此二箇所ハ全ク軍事上ノ目的ニ適ヒマセヌ、ソレ故ニ工費ノ如何ニ拘ラズ八王子ヨリ甲府ニ達スルコトニ決定シタ次第デアリマセウト考ヘマス

○(小間肅君) 今松本サンノ御答辯デ略分リマシタガ、サウ致シマス先ツ清内路線ト云フモノハあぶと式モ去リ、スルト先ツ軍事ノタメニハ敢テ差支ル所ガ先ヅナイ、サウスルト隧道ガ片勾配ニシテ工事ニ困難ナト云フノト、ソレニ工費ガ多分ニ要ルト云フノデ先ヅ之ハ……斯ウ云フ御答辯、果シテソコニ少シモ差支ガナシ工事ニ困難ト經費ニ多額ヲ要スルト云フダケニシテ、シマスト經費ト工事ノ困難ヲ顧ミンケレバソレデ宜シイ、清内路デモ宜シイト斯ウ一ツ假定シナケレバナラス、サウシテドチラデモ宜シイト假定シタ以上ハ人民ノ便否ト云フコトヲ先ヅ計ツテ見ナケレバナラス、人民ノ便否ト云フノハ總テノ殖産其他將來ノ先ヅ擴張ノ見込デゴザイマス、ソコニ論定ヲシナケレバナラスヤウニ思ハレル、ソコヨリ論ジテ往カヌ間ニ唯其工費ノ多寡デ是ハ採ルベキモノデナイト斯ウ云フコトニナルノハドウデアラウカ、私ガモウ一ツ碎イテ言ヒマス先ツ工費ノ多寡ト工事ノ困難ハドウデモ宜イトシタラバ、或ハ便益ノ所ハ多分ノ金ヲ掛ケテモ此方ガ我國ノ將來ニ利益ト云フ比較ヲ取ツテ往カヌケレバナラス、ソコハドウ云フ御見込ニナルカ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(兒玉源太郎君) 唯今小間君ノ是ガ軍事上ニハ毫モ關係ヲ持タナイト云フ御觀念ノヤウニ思ヒマスカラ一應申シテ置キマスガ、兎角軍事ト經濟トハ鐵道ノ上ニ就イテハ相俟タヌト云フコトハ往々世間ニアル論デゴザイマス、然ルニ茲ニ至リマスルト又一ツ其趣ヲ異ニシヤウト考ヘマス、如何トナレバ軍事ニ於キマシテモ三十分一ノ線路ガ宜シイヤラ四十分一ノ線路ガ宜シイヤラ分ラヌガ、併シ勿論ドツチカト云ヘバ四十分一ガ宜イト云フコトヲ考ヘナケレバナリマセヌ、ソレ故ニ地形ハ致方モナイ、是ヨリ外ニ選ブ線路ガナイトシマスレバ或ハ十分一デモ勸辨ヲシナクテハナラヌト云フコトガゴザリマスガ、則チ神坂線ニハ三十分一ガゴザイマス、所ガ一方ノ筑摩線ニハ三十分一乃至四十分一ヨリ急ナ勾配ハナクシテ中央線ハ貫ケルト云フ有様デアリマス、是ハ大ニ關係ヲ……軍事上ニ關係ヲ持ツコトデアリマス、又一方カラ申シマスト經濟上鐵道ノ建設費ニ於テモガ又差違ヲ生ジテ居ル、則チ神坂線ト筑摩線トヲ較ベマスレバ八百万圓ノ差ガアルト云フノデス、是ハ暗ニ軍事上ニモ筑摩線ガ便利ナリ鐵道建設費ノ上ニ付イテモ筑摩線ノ方ガ宜シイト、斯ウ云フ殆ド此ニ至ツテ始メテ軍事ト經濟トガ一致シタト云フ様ナ有様ガアリハセナイカト云フコトヲ自分ハ考ヘテ居リマス、是ハ御參考迄ニ申シテ置キマス

○(小間肅君) 今兒玉サンノ御答ハ全ク軍事ニ關係ガアル、關係ト云フコト丈ハ分リマシタガ、先ツ兎モアレ此清内路線ト云フモノデ先ツ軍事ノコトハ

多少ノ不便ハアルモ、マア著シイ差支ハナイト斯ウ一ツ見ルノデス、サウナ
ル以上ハ眞ニ此鐵道ハ官設ニスルハ營業ノタメデハナクシテ、ドウシテモ土
地ノ將來ノ見込ヲ計ラケレバナラス、故ニ其處ガドウカト云フコトヲ御尋
申シマシム

○政府委員(松本莊一郎君) 小間君ノ只今ノ御尋ハ線路ヲ伊那線ノ方ニ採
テ置ケバ將來殖産興業上ナリ全體ノ地方ノ利用發達上ニ非常ナ助ニハナラヌ
カ、則チ公衆ノ便利上ニ於テ本會ヲ採ルヨリハ後來大ナル利益ガアリハセヌ
カ、果シテサウナラバ其利益ト工費ノ増スト云フコトノ權衡如何ト云フコト
ガ知リタイト云フ御尋ト本官ハ考ヘマス、其積リテ御答ヲ申シマスガ、固ヨリ
必シモ工費ノ高バカリヲ以テ線路ヲ極メルナドト云フ様ナコトハ何レノ場合
デモ出來ルモノデハアリマセヌ、併ナガラ此場合ニ於キマシテ其關係スル地
方ハドウデアアルカト云フト、僅ニト云フテハ少シ氣ノ毒ナ様デアアリマセウガ、
併シ寄ツタ所ガ僅ニ伊奈地方ノタメデアリマス、其伊奈地方ハ成程信州ノ南
部デハ一番宜シイ所ト云フコトハ先程モ申上ゲタ通りノコトデ、又諸君ノ中
ニモアノ地方ヲ經過サレテ實況ヲ御存知ノ御方モアラウト思ヒマス、或ハ日
本ノ全体カラ云フテモ相應ニ宜イ所ト云ヘルカモ知レマセヌ、併ナガラ
アレガ非常ニ大ナル都會ガアルトカ非常ニ大ナル、日本デ一二ト稱スル工業
場ガアルトカ云フ程ノ場所デモ無クシテ、且ツ本會線ヲ捨ヘタ所ガ其伊奈地
方ハ便利ハ受ケヌカト云フニ十分受ケルノデス、唯其便利ノ受ケ方ガ違フ、飯
田迄本會線ヲ鐵道ガ出來タ所ガ、龍野マデ來ルニハ三十何哩カ往カナケレバ
ナラヌト云フ様ナコトガ、其不便ノ中ニ在リマスケレドモ、今本會ヘ通ズル
鐵道ニシロ、無イガ宜シイカアルガ宜シイカト云フコトヲ伊奈地方ノタメニ
考ヘタナラバ、此鐵道ガ一遍通ジタナラバ今日ニ比シテ非常ニ便利ヲ得ルノ
デアリマス、其便利ノ受ケ方ガモウ一步進シテ自分ノ所マデ來ヌカラ不十分
ニ思フト云フ話ダラウト思ヒマス、隨分歐羅巴デモ亞米利加デモ鐵道ヲ造ル
ニハ非常ニ巨額ノ資本ヲ投ジテ難儀ナ工事ヲシテ居ル所モアル様デス
ガ、併ナガラソレハドウ云フ所ニ在ルカト云フト、例ヘバ歐羅巴ノ一番有名
ナある富士ノ山脈ヲ切ツテ一番長ク出來マシタ彼ノさんこうだノ 隧道トカ、
或ハ……ノ隧道トカ云フモノデス、ドウシテア、云フヤウナ工費ヲ投ジテ造
ツタモノハ何カト云フニ、一方ニハ伊太利ト云フ國ガアル、一方ニハ佛蘭西
ト云フ國ガアル、一方ニハ獨逸トカ塊地利トカ云フ國ガアルト云フヤウナ、
邦ト邦トノ交通運輸ノ便ヲ通ズルニ峻嶺險山ガ其間ニ横ハツテ居ツテ、ドウ
シテモ長イ隧道デモ鑿タナケレバ仕方ガナイト云フノデ出來タノデアリマ
ス、ウレデスカラ最初カラ出來テハ居ラナイ、然ルニ今我日本ノ鐵道事業ノ
發達ノ程度ト他ノ國ノ發達ノ程度ヲ較ベテ見マシタナラバドウデアラウカ、
成程近來ニ至ツテ頗ル長足ノ進歩ヲ爲シテ、殆ド二千哩ニ近イ鐵道ガ日本
ニモ出來テ居リマスケレドモ、尙全体カラ申セバ甚ダ幼稚ナモノデアルト云
ハナケレバナリマセヌ、是ニ投ジタ資本額カラ申シマシタ所ガ、今迄ノ官設

私設ヲ皆併セタ所ガ漸ク一億萬圓ニナルカナラヌヨリ投ジテ無イノデス、則
チ人口ニ割ツテ見テモ一人ノ頭ニマダ二圓カ二圓五十錢位シカ持ツテ居ラヌ
ト云フ所デアリマス、ソレヲ彼一人ノ頭ニ付イテ五六十圓以上二百圓近イヤ
ウナ鐵道ヲ持ツテ居ル國ノ眞似ヲスルト云フコトハ餘程六ヶシイコトデアラ
ウト思フノミナラス、此伊奈線本會線ト云フ様ナ關係ハサウ大ナル國ト國
ガ兩方ニ在ルトカ或ハ非常ナ都會ガ兩方ニ在ツテ其間ニ成丈近クスルコト
ノ必要ガアルト云フ様ナ場合トハ違ヒマス、唯地方ノ或ル部分ニ成丈近イ鐵
道ヲ持ツテ往キ得ルカ得ヌ爲メニ八百萬圓ノ工費ヲ願ミズシテヤルト云フコ
トハ決シテ得策デ無カラウト信ズル、其所ニ至ルト程度論ニナルト思フ、必
シモ工費ガ多イカラ伊奈線ヲ採ラヌト一概ニ決シタモノデハナイノデゴザイ
マスガ、工費ノ上ニモ隨分程度ガアリマスカラ曩ニモ申上ゲマシタ如ク之ヲ
一方ニ利用スレバ隨分鹿兒島線トカ或ハ其他ノ線路デモ相應ニ長イモノガ出
來ルノデアリマスカラ、國ノ全體カラ見マシタナラバサウ云フ鐵道ノ外ニ出
來タ方ガ、アノ鐵道ヲヨセタ利益ヨリ或ハ大ナルモノデハ無カラウト思フ
ノデゴザイマス

○(田中源太郎君) 一寸御尋致シマスガ此第一期ノトキニ出シタ案ト八王子
線ノ方ハ工費ガ餘程増シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、全クあぶと式ノアツタ笹
子トカ何トカあぶと式ヲ除イテ四十分一ノ勾配ノ所ヲ迂回スルニ附イテ増シ
マシタノダラウト思ヒマス、其あぶと式ト四十分一ノ所ヲ廻ルニ附イテ増シ
マスル里程トツレカラ増シマスル工費ノ額ヲ一寸伺ヒタイ

○政府委員(松本莊一郎君) 里程ニ致シマスルト二哩五十四鎮、先ヅ二哩半
ト御考ニナツタ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ工費ノ増シマスルコトハ百
五十五萬圓バカリデアリマス、斯ノ如ク工費ガ増シ里程モ幾分カ延ビマスル
ガ、里程ノ方ハ詰リ列車ノ時間ヲ鐵道ノ里程ハ勘定スル方ガ寧ロ宜カラウト
思ヒマスカラ、是ハ餘リ得失ヲ云フ價値ハナイト考ヘマスガ、工費ノ増シマ
スルニモ拘ラズあぶと式ヲ廢シテ四十分一ノ勾配ヲ取ルト云フコトヲ致シ
タニ就キマシテハ、私ガ述べマスルヨリモ矢張陸軍ノ政府委員カラ御述ニナ
ツタ方ガ宜カラウト存シマス

○(田中源太郎君) 私ハ一讀會ニ於テハ原案ニ異存ハゴザイマセヌ

○(名倉次君) 八王子カラ諏訪迄デスカ、宛ニ角筑摩線ト伊那線トノ分レ場、
又名古屋カラ伊那線ト筑摩線トノ分レ場、此進行點ハ何ノ點デゴザイマセウ、
兩端カラ次第ニ遣ツテ行ツタ所ノ……

○政府委員(松本莊一郎君) 工事ノ著手順序ヲ少シ申上ゲナケレバ御返答ニ
ナラヌト考ヘマスガ、唯今提出シテアリマスル議案ガ盡ク決シマスルナラバ
兩端カラ著手シマスルト同時ニ篠ノ井線ニ著手セヌケレバナラヌト考ヘテ居
リマス、篠ノ井線ニ著手シテ是ガ先ヅ急ギマスレバ四年位デ出來様カト思ヒ
マス、サウ致シマスルト四年經ツテ後ニハ篠ノ井線ノ中央ニ接續スル所、則
チ本會線ノ方ニ極マリマスレバ鹽尻トカ洗馬アタリデ手ヲ著ケルコトガ出來

ル、所ガ比較上中央線ノ中何處ガ一番工上時日ヲ要シ、何處ガ一番六ヶシイカト云ヘバ八王子甲府間ト思フ、ソレ故ニ八王子ノ方カラ幾ラ急ギテ參ツテモ笹子峠ノ三哩ノ隧道ヲ抜ケテ甲府ノ方ニ進ンデ行キマスルト云フコトハ隨分長イ時日ヲ要スルコトデアリマスルカラ、笹ノ井線ガ出來テ左ノ方ニ向フ

ノガ諏訪ヲ經テ寄セテ來ルノト、ソレカラ八王子ノ方カラ攻メテ參リマスモノト、ソレガ笹子ナリ何所カ彼ノ近傍デ始メテ出會フト云フコトガ出來ルデアラウト思フ、木曾ノ方ニ參リマスノハ矢張是モ鳥居峠ノ一哩少シ餘計ノ隧道ガアリマシテ、アノ近傍ニハ大分外ニモ大キイ仕事ガアリマスカラ、矢張向

フカラ參リマシタモノモ急ニアレ迄屈クコトモ出來ル、又西ニ突キ抜ケルコトモ出來ルト考ヘマスカラ、笹ノ井カラ參リマスモノト右ニ向ツテ進ミマスモノガ遂ニアノ近傍デ出會フコトニナラウカト云フ想像デアリマス、併シ今日ハ全ク想像ニ止マリマスルカラ著手順序ニ就イテハ尙更ニ研究ヲシマセヌト確トシタコトハ申サレマセヌガ、極クザツト申シマスルトサウ云フコトニ

ナラウト思ヒマス、其工事ハドレ位掛ルカト申シマスレバ矢張中部ハ暫ク置クト云フ御尋デスナ——中部ハ置イテ遣リマシテモ十年位掛ラウト思ヒマス、神坂線ノ方ハドウカト云ヒマスレバ先程カラ申シマスル通り五哩以上ノ隧道ガ一番餘計ノ時日ヲ要シマスト思ヒマス、ドウ急ギマシテモ五年ヤ六年デ

ハ出來マイト思ヒマスカラ、先ヅ十一年ノ中ニ之ヲ終ラウト思ヒマスレバ成ルベク早く手ヲ著ケテ之ヲシナケレバナラヌ、所ガ第一物品ヲ運搬スルニモ器械ヲ持ツテ行クニモ困難デアリマスカラ、ソレガ爲メ二十年デモ矢張出來ナイコトナラウト思ヒマス

○(名倉次君) スルト筑摩線ト伊那線トノ出會フ所ハ何處デアリマスカ
○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ金ノ勘定ニ餘程關係シマスカラ御承知ノ通り年々五百万圓宛出シテ行ク其中一期線デヤリマスモノヲ割當ヲシナケレバ申上兼ネマスルガ、此ヅ工事ノ進ミマスル寸金ガ出ルトシマスレバ、中津川迄ハ餘リ困難ノ所ハナイ、唯僅ニ多治見ト名古屋ノ平原ニ出ル細イ川ノ縁ヲ

通りマス所ノ隧道ガ澤山アリマス、其外ハ餘リ困難ノ工事ハアリマセヌカラ中津川迄ハ三年モ掛レバ立派ニ出來テ來ラレ様カト思ヒマス
○(名倉次君) 尙一ツ御尋致シマスガ、伊奈線ヲ通ルトシマスルト笹ノ井線ヲ利用スルトコトガ出來マイト思ヒマス、左スレバ工事ノ捲取りハドシナ都合ニナリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) ソレデモ尙笹ノ井線ハ利用ガ出來様カト思ヒマス、ト云フモノハ木曾線ヲ採レバ鹽尻若クハ洗馬ノ間デ出會ヒマスルシ、伊奈線ヲ取レバ尙進ンデ小野ノ所ヲ通ツテ龍野ニ出マシテ、ソレカラ伊奈ノ方ニ向ツテ進ンデ參ル、又一方ハ龍野カラ左ニ折レテ諏訪ノ方ニ出テ參リマスルカラ其點ニ於テハ餘リ違ヒマセヌ

○委員長(佐藤里治君) 是ハ屢御質問ニナツタ問題デアリマスカラ、一讀會ハ大体ニ就イテ御意見ノナイモノト認メマシテ、此次ノ議事ニ移リマス——

新瀨縣下直江津ヨリ新瀨及直江津ヨリ新發田ニ至ル鐵道
○(田中源太郎君) 此線ニ對シテ新井毫君ノ提出ノ議案ガ出テ居リマスガ、是モ一所ニヤツテ仕舞ハンケレバナラヌト思ヒマス、關聯シテ居リマスカラ——如何デス

○(菊池九郎君) 此澤山ナ法律案ノ修正案デ皆此會議ニ托シテ調査スルト云フコトハ過日議長ノ方カラ報告ニナツタコトデアリマセウガ、未ダ判然シテ居ラヌト云フ様ナ話モアツタ様デアリマスガ、トウデスカ
○委員長(佐藤里治君) 私モ能ク知りマセヌガ、是迄ノ例ニ依ツテ此鐵道ニ關係ノアル議案ハ附託スルト云フコトデスカ

○(重野謙次郎君) 加賀美嘉兵衛君ノ提出ノ案モ議事日程ニハ登ラヌガ、是モ特別委員ニ附託スルト云フコトハ判然云フタ、其例ヲ以テ推シテ見レバ是モ託サレタモノト推定ガ出來マス
○(菊池九郎君) 是ハ併シ確メテ御貫ヒ申シタコトガ、快ク審査ガ出來ヤウト思ヒマス

○委員長(佐藤里治君) 問合セマセウ
○(田中源太郎君) 是等ハ此儘デ一處ニシテ宜イト思ヒマスガ、此線モ同様托サレタモノト思フ、ソレハ前例モアリマス又此間議論ニ顯ハレタノモ其意味デアラウト思ヒマス、今朝書記官長ニ御目ニ掛リマシタニ鐵道ノ案ハ悉ク其儘デ托サレタ積リデアアルカドウカ、ト是ハ公然掛合フタノデアリマセヌガ、其積リデアアルト云フコトデアリマス、併シ鐵道條例修正案、彼レハ別ニナルノデアリマセウガ、鐵道線路ノ分ハ悉ク附托サレタモノト思フト云ハレ

○委員長(佐藤里治君) 尙念ノ爲メニ問合セマスケレドモ其通りデ宜シウゴザイマセウ、新井毫君ノ提出案ハ茲デ今貫ツタノデアリマスガ、是ハ取りモ直サズ法律ノ比較線ニナツテ居ルノデスカ、同ジク之ニ議及シテ行クデス
○(田中源太郎君) 一寸御尋致シマス、此間御尋致シマスガ分リマセヌカラ伺ヒマスガ、此新井毫君カラ提出ニナツテ居ルノハ最モ軍事上ニ重キヲ置イテ出テ居ル様ニ思フテ居リマス、ソレカラ其内ニ經濟上ノコトモアリマスガ、

經濟上ノコトハ長岡デ合スルトキハ同ジト思ヒマス、サウスルト軍事上ニ重キヲ置イタコトデ、軍事上ニ重キヲ置クトシテソレハ一方ニ岩越線ガアルカラ左程重ヲ置カヌト云フ御説明ガアツタ様デアリマスガ、岩越ヲ廻ツテ行キマスノト、若シモ此上越線ヲ採リマシタナラバ里程ノ差ハトウデアリマスカ、東京ヲ根據トシテ……

○委員長(佐藤里治君) ソレハ昨日答辯シタノデアリマス、前橋ガ一番近イト云フデアリマス
○(望月右内君) 是迄建議案ヲヤリマシタノハ一昨二十五年ノ例デアリマス

カ、其時ハ確メタヤ否ヤハ知りマセヌガ、矢張是ハ菊池君ガ心配サレマシタ如ク之ヲ確メマセヌト現ニ此新井君ノ建議案ノ如キハ比較線デアリマスカ

ラ、若シモ茲デ排斥スルガ如キコトガアツテ、委員會ハ之ヲ容レザル様ナコトニナツテハ不都合ガ起ラウト存シマスカラ、二次會ニナリマス迄ニ公然御問合ヲ願ヒマス

○委員長(佐藤里治君) 宜シウゴザイマス

○(田中源太郎君) 今其近イ道ヲ御尋申シマシタガ、昨日質問ニ御答ニナリマシタ日記ガ出マシタデ分リマシタガ、東京ヲ根據トシマシテ岩越線ヲ採レバ殆ド五十哩上越線ノ方ガ近い、此五十哩ト云フ差ハ大キナ差デゴザイマシガ、二百哩ノ線路デ四分ノ一モ違フ、是丈ノ差ガアリマシテモ軍事上妨ニハナラヌト云フ御見込デアリマスカ

○政府委員(兒玉源太郎君) 新潟ノ平原ニ出マスノハ東京ヨリノ標準ノミヲ御覽ニナリマス目的ガ違ヒマセウ、東京カラモ見ナケレバナラナイガ、又仙臺ニモ關係ガアルノデ、彼是ヲ見マスト矢張岩越ガ宜シイカト考ヘル

○(田中源太郎君) 唯今デナクツテモ宜シウゴザイマスガ、二次會迄ニハ仙臺カラ岩越ヲ通シテ行ク哩數ト仙臺カラ上越ヲ廻ツテ行ク哩數ノ差異ヲ一遍見タイト思ヒマスガ、ソレ丈ヲ二次會迄ニ御調ヲ願ヒマス

○(菊池九郎君) ソレデハ陸軍ノ方デハ東京ノミナラズ仙臺ノ方ト新潟ノ方ト愛知ノ方ト此兵ヲ送ル便宜上ヲ御計リニナルノデアリマスカ

○政府委員(兒玉源太郎君) 只今田中君ニ御答申シタノハ新潟ノ平原ニ兵ヲ用フルニハ新潟ト東京ノミノ關係ヲ御覽ニナツテハ宜シクアルマイ、新潟ト仙臺ト云フモノ、關係モ御覽ニナラナクテハナラヌト云フコトヲ申シタノデアリマス

○(田中源太郎君) ソレデハ本案ニ就キマシテハ異議ハゴザイマセヌ

○委員長(佐藤里治君) 異議ナシト決議シマス、其次ノ京都府下京都ヨリ舞鶴ニ至ル鐵道——是モ別段御異議ガナイ様デゴザイマスカラ一次會ハ此儘ニ致シマス、其次ニ奈良縣下高田ヨリ五條ヲ經テ和歌山縣下和歌山ニ至ル鐵道

○(田中源太郎君) 一寸御尋致シマス、此法案ニハ高田ヨリ五條ヲ經テトアリマスガ、五條迄ハ確カ私設ヲ御許シナツテアルト思ヒマスガ、サウデゴザイマスガ

○委員長(佐藤里治君) サウデス

○(田中源太郎君) 別段異議ハゴザイマセヌ

○委員長(佐藤里治君) 是モ一讀會ハ異議ナシト認メマス、其次ハ兵庫縣下姫路ヨリ鳥取縣下鳥取ヲ經テ境ニ至ル鐵道、此第一讀會ニ移リマス

○(田中源太郎君) 一寸昨日大体ハ伺ヒマシタガ、第一ニ大津淳一郎君カラ龍野ヲ起點トスルガ宜イト云フ案カ出テ居リマス、其要點ハ工費ガ少ナイト云フノト線路ノ哩數ガ少ナクナルト云フノト、ソレカラ軍事上ノ關係デアアル、ソレニ水害、此等ノ要點ガ書上ゲテゴザイマスガ……

○委員長(佐藤里治君) 是ハ成程議員ノ修正ヲ提出ニナツテ居リマシタモノ

ト關係シテ居リマスカラ、同時ニ一讀會ヲ開クト云フコトガ宜カラウト思ヒマス、今ノ龍野カラト云フ……

○(田中源太郎君) 大体ハ昨日伺ヒマシテゴザイマスルガ、尙念ノ爲ニ此龍野ト云フ所ヲ起點ニ取ラスシテ姫路ヲ起點ニ取ツタト云フ要點ヲ伺ヒタイ

○(重野謙次郎君) 加藤平四郎君カラ出テ居ルノモ關係ガアル様デスガ

○委員長(佐藤里治君) 是モ關係ガアル、又大津淳一郎君ノモアル、詰リ此比較案ニ就イテハ姫路ヲ龍野トスルノト、此比較線ハ岡山ヲ起點ニ取ルノト、此二ガ問題トナツテ居リマス

○(名倉次君) 昨日ノ御答ニ固ヨリ龍野ヲ起點トスレバ便利デアアルガ、龍野姫路間ノ山陽線ニ複線ヲ敷ケハ龍野ヲ起點トシテモ敢テ妨ハナイト云フ様ナ答辯ヲ承ハツタト思ヒマス、サウシテ複線ニシマシタ所ガ汽車ヲ乗替ヘネバ往ケヌデアラウト思ヒマスガ、何カ乗替ヘヌデモ宜シイ方法ガ附キマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 田中君ノ御問ト名倉君ノ御問ニ御答シマスガ、先ツ以テ名倉君ノ方ガ簡單ト考ヘマスカラ先キニ申上ゲマス、龍野ヲ起點ト致シマシテモ龍野ヲ乗替ヘズニ矢張り姫路カラ汽車ヲ出スコトガ出來ルカト云フ御尋ト思ヒマス、ソレハ無論差支ナク出來マス、但其場合ニハ山陽鐵道會社ガ所有シテ居リマス姫路カラ龍野迄十哩足ラズノ所ヲ始終此方ノ列車ヲ唯奔ラセルト云フコトニナリマス、サウナリマスルト云フト昨日モ申上ゲタ様ニ或ハ其間ニ複線ノ敷設ヲ要スルカモ知レマセヌ、サウ致シマスレハ夫ダケノコトモ併セテ勘定ノ中ニ入レネハナラヌコトデアラウト思ヒマス、併シ今日ノ景況デハ直ニ複線ノ必要ハナクシテ單線ノ儘ヲモ姫路カラ列車ヲ出シ、又姫路ニ列車ガ戻ルコトガ出來ルデアラウト思ヒマス

○(名倉次君) 然レバ揖保川ヲ渡ツテ正條驛ノ所ヲ西ノ山手ヘ廻リ登ルヤウニ敷ケバ、汽車ガ廻ラレルト云フノデゴザイマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) サウ致シマセヌト矢張龍野停車場ヲ本起點トシテ參リマシテモ本起點トシテ通シテ奔ラシテ一向差支ナイ、丁度日本鐵道會社ノ山ノ手ノ線路ガ品川カラ分レテ居リマスケレドモ、新橋迄ズンノ這入ツテ來マス、又出ル時ニ線路ヲ通ツテソレカラ自分ノ線路ニ入ツテ運轉シテ居ルト同シ事デゴザイマス

○政府委員(松本莊一郎君) 田中君ノ此龍野カラ分岐スルト云フ方ヲ取ラズシテ新タニ姫路カラ直チニ往クモノヲ取ルト云フコトニ就イテ、昨日申上ゲタコトヲ尙申上ゲルヤウニト云フ御請求デアリマシタカラ、ソレニ就イテ成ベク簡單ニ申上ゲマスルガ、龍野カラ參リマスル方ガ新タニ線路ヲ作りマシテハ五哩餘姫路カラ鳥取ニ參リマスヨリ遠クナリマスル、ソレデ姫路カラ此山陰道ノ方ニ參ル線路ヲ遠クシテモ、矢張新タニ作ル線路ヲ成ルベク近ク

スル方ガ利益デアアルヤ否ヤト云フコトガ、則チ問題デアアルノデアリマス、處ガ其工費ニ於テハ昨日モ申シマシタヤウニ十萬圓少シ餘リデ新ラシイ線路ヲ姫

路カラ作ツテ往クコトガ出來マス、若シ此間ニ何か非常ナル工事上困難ナコトガアツテ、從ツテ工費モ澤山掛カルト云フ場合デアレバ是ハ餘程考ヘナケレバナラヌト思フ、全体ノ工費ハ成リ得ベクダケ減ジタイト云フ精神カラ……若シゴザリマスルナラバ龍野カラ往クヨリモ、尙龍野カラ西ノ方ニ十一哩半計リ參ツタ加美郡ト云フ處カラ分岐シテ參ルト二十七哩餘……姫路カラ新タニ出來マスル代ハリニ十三哩半計リ少シ餘リ出來レバ宜シイト云フコトニナル、則チ差引十四哩計リ少ナク作ツテ濟ムト云フ譯ニナリマス、十四哩モ少ナク作ツテ濟ムコトニナレバ固ヨリ工費ノコトハ龍野デ往クモノヨリハ安クナルト思フ、尙大ニ違ツテ參リマスルカラ、ソレヲ若シ新設ノ線路ニ成ルタケ金ヲ使ハヌト云フ方ノコト計リテ得策ナリト認メルナラバ、加美郡ニ往クノガ一番適當デアラウト思フノデゴザイマス、併ナガラ此山陰山陽ノ聯絡線ハ山陰道ニ成リ得ベキダケ餘計ニ便利ヲ與ヘタイ、ト云フモノハ山陰道ノ目的トスル關西ノ商業ノ中心ナル大阪ハ成ルベク丈ハ近クシタイト云フノガ元來ノ考デアルカラ、此加美郡カラ往クノヲ取ラヌノデアリマスカラシテ、僅カ十萬圓餘リノ工費ノタメニ五哩永久長イ線路ヲ參リマスルヨリカ、矢張直接ニ姫路ニ參ツタ方ガ宜カラウ、加フルニ昨日モ縷々申シマシタヤウニ運輸上ノ都合ヲ考ヘマス、尙又昨日モ其事ニ就キマシテハ陸軍ノ政府委員カラモ述ベラレマシタコトモゴザイマシタカラ、旁々起點ハ矢張姫路ノ方ガ宜カラウト考ヘルノデゴザイマス、尙水害ノコトニ就イテ大層議論ガアリマシタ、則チ此間ニハ揖保川其外何大川ト云フモノガアルト云フコトハ此提出ノ……何方カラカ提出ニナツテ居ル中ニモ書イテゴザイマス、成程水害ノコトハ固ヨリ十分ニ注意シナケレバナラヌコトデアリマスルケレドモ、是ハ昨日モ申述ベマシタヤウニ十分水害ノ起ラヌ丈ノ設計ヲ立テ、橋梁ノ架設ヲ致シテ置キマシタナラバ、別ニ恐ル、コトハナカラウト信ジテ居ルノデゴザイマス、是マデモ隨分鐵道ガ出來マスル時分ニ利根川トカ、或ハ岐阜ノ方ノ木曾川デアルトカ、長良川デアルトカ、又ハ揖斐川ノ如キモノハ最モ八釜シイ議論モアツテ、既ニ揖斐川ノ如キハ明治十八年ニ橋ヲ作ル時ニ田圃ノ上ニ橋ガ一ツ作ツテゴザイマス、二百尺モアル橋ガ作ツテアル、是ハ何故カト云フト揖斐川ノ川幅ハドウシテモ將來取廣ゲル必要ガアルカラ、豫メ此處ニ橋ヲ架ケテ置カナケレバナラヌト云フノデ、二百尺ノ橋ヲ大層上ノ田圃ノ上ニ作ツテアル、然ルニ今以テ其川ヲ取廣ゲニナラズシテ……揖斐川ガ他日改修ガ出來たら卒知ラズ今日デハ實ニ馬鹿氣ヲ所ニ橋ガ架ツテ居ルヤウナコトガアル、其處マデニ水害ノ事ハ心配シテ他日ノ謀マデノモ爲シテ居ル位デアリマスカラシテ、其邊ハ能ク御熟考ニナリマシタナラバ強イテ恐レルコトハナイト考ヘマヌル、又是等ノ川ハ何大川トハ言ハレマスルケレドモ、是ハ土木局ノ直轄ノ彼ノ利根川トカ或ハ信濃川トカ大井川トカ言フヤウナ世間ノ人ガ皆大河ト云フテ居ル程ノモノデハナイト信ジテ居リマス

○委員長(佐藤里治君) 一寸御開キ申スコトガアリマスガ、此比較線ノ決定ト云フモノハソレハ調査ノ濟次第ニ決定シテ置クモ宜シイデスガ、併シ之ヲ決定シナケレバ差支ルト云フ時機ハ此線路ニ著手スルト云フコトニ必要ガアリマスカ、縱令調査ガ濟ンデアツテモガ、若シ此比較線例ヘバ此山陰線……此事ニ就イテ噂ヲ聞イタコトモアルデスガ、ソレハ何トナレバ詰リ山陰縱貫線ノ今鐵道局デモ取調ニナツテ居ル、其縱貫線ヲ果シテ京都ノ今ノ舞鶴ノ起點ノ方カラ因幡ニ聯絡スルト云フコトニナレバ、横斷線ノ一ツモ亦一ノ考モデアアル、サウ云フ際ニハ先ヅ比較線ノ決定ハサウ急ガナイ方ガ却ツテ後日ノタメニ宜カラウカト云フヤウナコトヲ唱ヘテ居ル人ガアルヤウニ聞イテ居ル、サウスルト唯今此處デ決定シテ置カナケレバ差支ルト云フ他ニ何カ理由ガナケレバナラヌト思ヒマスガ、アリマスカ、何ウデゴザイマスカ、ソレヲ一ツ伺ツテ置キタイ

○政府委員(松本莊一郎君) 御尤モナ御尋デゴザイマスガ、固ヨリ工事ニ著手スルマデハ比較線ガ決シナイカラ困ルト云フコトハ事實ノ上ニ格別ナカラウト思ヒマスガ、唯隨分地方ニ於テハ此比較線ト云フモノノタメニハ非常ナル心配ヲシテ、或ハ有志者ガ陳情委員トシテ特ニ東京ニ出テ來ルトカ、種種薩多ナコトヲ所謂運動ト云フヤウナコトモヤツテ居ルト云フコトハ諸君モ能ク御承知ノ通りデアリマスルデ、略比較線ヲ決シ得ル丈ノ材料ガ此處ニ在ルト云フ場合ニナレバ、決定シ置カレマスレバ自カラ夫等ノ紛擾モナクナル譯デアラウト考ヘマスルデ、大体ニ於キマシテハ比較線ノ決定ハ出來得ル場合ニハ致シタ方ガ宜カラウト信ジテ居ルデアリマス、併シ工事ヲ施ス上カラハ固ヨリ今比較線ドウシタカラト云テ直チニ著手スルモノデナケレバ差支ヲ感ズル道理ガナイ、又縱シヤ比較線ガ皆決定ニナリマシタ處デ、サウドウモ一時ニ手ヲ著ケルト云フコトハ事實爲シ得ナイコトデ、若シ強イテ爲シタナラバ大變損ナ話デアラウト思フデス、成リ得ベキ丈ハ私共ノ職務上ナリ學理上カラ考フ下シマス、片ツ端カラ片付ケルト云フテモサウハ參リ兼ネマスケレドモ、成ルベク力ヲ或線路ニ集メテ、サツサト仕事ヲ片付ケタラ次ニ移ルト云フコトハ工事上ノ都合ガ宜カラウト思ヒマス、立派ナ技師ヲ出シテ其人ガ十分ノ技術ヲ現ハシ得ル丈ノ仕事ヲサセルニハ、ドウモ澤山ナ線路ニナルト出來マセヌ、僅カナ金ヲ——此所デハ一年ニ三十萬圓ヨリ使フコトガ出來ナイ、此所ニハ四十萬圓ヨリ使フコトガ出來ナイト云ヒマス、車輛ヲ買ヒマストカ隧道ヲ拵ヘルト云フコトニ使フ金ハ極ク僅カニナリマスカラ、僅々數哩ノ間ニ立派ナ技師ヲ使フコトハ出來マセヌ、左レバトテ經驗ノナイ人デハイケマセズ數箇所掛持チサセルコトガ出來ルカト云フト……成ルベクハ片附ケ得ラレルタケハ片附ケルト云フコトハ工事ヲスル上ニ得策デアラウト信ジテ居リマス、故ニ假シ極マツタ所ガ直ク著手ノ出來ヌ所ハ後廻シニスル、即チ順序ヲ定メテ著手スルコトニナリマスカラ、其方カラ申セバ今極マラナケレバ斯ウ云フ差支ガアルト云フコトハナイト思ヒマス

○委員長(佐藤里治君) サウスルト之ヲ決定ヲ急グト云フモノハ着手ノタメニ決定ヲ急グト云フ事實デナク、之ヲ遷延セシムルト其間ニ地方ノ人ガ大變迷惑ヲスルカラ一日モ早ク極メテ行ク方ガ得策デアアル、ソレカラ布設法中ノ第一期中ノ此度篠ノ井鹿兒島ヲ線上ゲル、ソレカラ陰陽連絡線、中央線、ソレカラ吳ノ軍港ノ線、是等ノ着手ハドウ云フ順序デナサルト云フ大凡ノ……

○政府委員(松本莊一郎君) 着手ノ順序ハ御承知ノ如ク鐵道會議ノ審議ヲ經テ決定スルト云フ程デ、頗ル大切ナコトニ存ジマス、ソレ故ニ是ハ大體定マツタ後ニ十分研究ヲシテ、遞信省ニ於テモ審議ヲ盡シタ上ニ遞信大臣ガ鐵道會議デ……只今見込ヲ申上ゲルコトハ困リマスケレドモ、單ニ私ノ考ヘマス所ダケヲ申上ゲレバ、此度極ラウト云フ中デモ篠ノ井線ノ如キハ直チニ着手ヲ要スルト信ジテ居リマス、ソレデ中央線ノタメニ篠ノ井線其物ノ布設ノ急ヲ要スルカモ知レマセヌガ、其急ヲ要スルト云フヨリハ中央線ノ布設ノ急ヲ要スルト云フコトニ就イテ、其順序上カラ急ヲ要シテ來ル次第ニナリ、中央線ノ如キモノハ餘程年數ヲ掛ケマセヌケレバ毎年五百萬圓ヲ増加シテモ宜イカラヤレト云フテモ、餘程六ヶシカラウト思ヒマス、金ノ高ヲ増シテヤルト云フコトガ經濟上許スナラバ政府ニ於テモサウ云フ議ガ起ルカモ知レズ、帝國議會モ御協贊ニナルコトガアルカモ知レマセヌケレドモ、金ヲ濫費シテモ宜イト云フコトハナイ、併シ餘リ急ギマス濫費ヲ生ズルト云フ恐レガ往々アリ、大變難儀ナ所ニ工事ヲ起シテ、ソレガタメニ要ラヌ役人モ置カナケレバナラヌト云フコトガ生ジテ來ナイトモ言ハレマセヌ、ソレデ成ルベク濫費ヲ生ジナイヤウニシナケレバナリマセヌ、サウスルトニハ中央線ノ如キハ中央カラデアアルト篠ノ井線デナケレバナリマセヌカラ、從ツテ築キ從ツテ建築ノ材料ヲ送ルト云フ順序デヤラナケレバナリマセヌ、是等ハ最モ著手ノ急ヲ要スルモノト考ヘマスガ、其他ノ線ハ第一期中ニヤリ得マス所ノ年期ヲ以テ割出シテ見テ、第一期ハ唯今デハ明治二十七年デ御仕舞デアリマスケレドモ、尙金ノ上カラ或ハ之ヲ少シク延バスト云フコトモ必要ニナツテ來ルカモ知レセヌ、サウナツタナラバ矢張其中ニ就イテドレダケノ年數ヲ要スルト云フコト其他ヲ考ヘマシテ、順序ヲ定メヌデハナリマセヌカラ、唯今確カニ分ツテ居ルモノハ今申上ゲタダケデ、其後トハ今日當年カラ著手シナケレバナラヌト云フコトヲ申上ルコトハ六ヶシウゴザイマス、併シ尙一言申添ヘテ置マスガ、ソレナラバ當年決シナイデモ宜イデハナイカト云フ御考モ起リマセウガ、先ニ御答ヲシマシタ時ニ比較線ノ決定ハ地方ノ紛擾ト云フコトモ申上ゲマシタガ、ソレハ一概ニサウモ行カナイダラウト思ヒマス、ト云フモノハ十年ノ後マデ明カニ見ルコトハ出來ナイ、五年ノ後ヲ見ルコトハ出來マセヌガ、一三年先キノコトヲ見テ置カヌトナリマセヌカラ矢張其順序ヲ考ヘマス上ニ於テモ、成ルベク早ク是等ノコトヲ決スルガ得策デアラウト思ヒマス

○(田中源太郎君) 先刻伺ヒマシタ龍野ノ方ハ工事ガ困難デ、姫路ノ方カラ行クトサウデナイト云フコトデスガ、龍野カラ行クト姫路カラ行クト工事

ノ困難ト云フノハドウ云フ……

○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ先キニモ一ト通り述ベテ置キマシタガ、實際トチラニシテモ格別是カラヤリマス鐵道線路ノ中デ工事困難ト云フ部分ニ這入ルマイト思ヒマス、東京高崎間若クハ宇都宮線路ノ如キモノナラバ困難ノ中ニ這入リマスケレドモ——東海道ノ箱根ノ如キ確氷峠ノ仕事ノ經驗カラ見マスルト、龍野カラ參ラウガ姫路カラ參ラウガ、ソレカラ先キニハ大分六ヶシイ所モアリマスケレドモ、此兩線ニハ餘リ困難ハナカラウト思フ、斷面圖ハ今日持ツテ參リマセヌカラ御目ニ懸ケラレマセヌガ、斷面圖ヲ御覽ニナレバ御考ノ附ク位ナコトデアリマス、大ニ困難ト云フコトハナカラウト思フテ居リマス

○(名倉次君) 岡山線ノ方ニハあぶと式ガアリマスヤウニ此調デハ出テ居リマスケレドモ、岡山線ヲ主張スル人ハ四十分一ノ勾配デ往ケルト云フコトヲ申シマスガ、果シテソナ御調モ出來タラウガ、アリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 昨年中岡山線ヲ主張スル人ガ度々其事ニ就イテ再調査ナドヲ云ツテ參ツタコトガアリマシテ、既ニ或ル技師ヲ聘シテ彼ノ近傍ノ有志者ガ倉吉ノ方ニ出マスル線路ノ中ニ四十分一バカリノ勾配ガ出來ルト云フコトヲ測量ヲサレタコトガアリマス、ソレハ或ハ記憶ガ間違ツテ居ルカ知レマセヌガ、三十五分一位ニハ線路ヲ長クシテ、サウシテあぶと式ヲ用ヒズ倉吉ニ出ラレルト云フコトヲ申サレタ者ガアリマス、然ルニ其線路ハ最初山陰山陽連絡線ヲ調査スル時分ニモ全ク思ヒ當ラヌデハナクシテ、少シハ調ベタコトガアツタ、到底望ガナイノデ格別ノ事ハナク止ンダ所デアリマス、ソレデ此線路ハ非常ニ難線ナ所デアルカラ到底其比較上岡山線ト云フモノヲシテ斯ウ云フ價值ノアルモノダト云フコトノ見込ハナイト云フノデ、再調査ノ出願ハ二度迄モゴザリマシタケレドモ、二度ナガラ需ニ應ジナカッタ、所ガ此度岡山ノ人ガ——固ヨリ岡山ノ人バカリデハアリマセヌガ、岡山カラ境ニ至リマスル迄ノ私設鐵道ヲ出願シテ來テ居ル、其出願者ノ中ニハ先キニあぶと式ヲ避クル線路ガアルト云フコトヲ云テ來タ方々ガ這入ツテ來テ居ル、然ルニ其人達ガドノ線路ヲ採リ積リデ出願ニナツテ居ルカト云フト、矢張政府ノ採リマシタ線路即チあぶと式ノアル國道線ト云フモノヲ一番宜シイト云ツテ自分達ガ採ツテ居ラレル、サウシテ見レバ其人等モ自カラ得失ハ御分リニナツタラウト信ジテ居リマス

○(名倉次君) 鳥取境間ノ工事ハ……

○政府委員(松本莊一郎君) 鳥取境間ト外ニ引分ケテゴザイマセヌガ、若シ分ケテ御承知ニナリタケレバ、今ハ少シ御答ガ出來マセヌ

○(名倉次君) 極ク概略デモ宜シウゴザリマスカラ

○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ概數ガ餘程言ヒ惡イ、哩デ割附ケル譯ニハナリマセヌ、比較シテ見マスレバ鳥取境間ハ餘程容易ナ所デ、地ノ部分ト較ベマスレバ一哩當リガ安クナルダラウト思フ、ソレデ全ク哩數デ割ルト云フ

譯ニハ往カナイ、概略ヲ申シマスト非常ニ間違ガアルヤモ知レマセヌ、若シモ入用ナラバ別ニ……

○(田中源太郎君) 一寸伺ヒマシガ、此岡山線ニ對シテモ倉敷線ニ對シテモ北海岸ニ出ル所ノ……ガ境港ニマデ行クニ鳥取カラ行クノニハ非常ニ海岸ヲ通ツテ行カナケレバナラヌ、彼レガ惡イト云フ説ガ多イヤウデアリマシガ、ソレニ對シテ軍事上ノ關係如何デゴザイマシカ、ソレヲ一ツ御尋シタイ、ソレカラ今一ツハ此岡山線ニ比シ今松本サンガ御答ニナツタ如ク、私設願ノ出タト云フ岡山線ガ私設願ガ出テ居リマシレバ、此線ハ縱令ヘ官設ヲ鳥取姫路間ヲヤルト云フコトニ茲ニ比較線ガ確定ニナリマシテモ、之ヲ別段ニ許シテ差支ナイト云フ御見込デゴザイマシカ、又許ス御積リデゴザイマシカ、是ハ鐵道會議モアリマセウシ、大臣ノ御見込モアリマセウガ、當時ノ所デ當局者ノ御見込ハ如何デゴザイマシカ

○政府委員(兒玉源太郎君) 此鳥取カラ境港マデノ間ノ海岸ニ接近シテ居ルト云フコトハ私ハ一昨年ノ委員會デモ大略述ベテ置キマシタガ、如何ニモ海岸ニ接近シテ居リマシ、然ルニ凡ソ山陰山陽ノ地形ヲ以テ見マスト云フト、工事ノ善惡陸地デ大兵ヲ運動ヲスルト云フコトハ餘程少ナカラウト考フルノミナラズ、此山陰ハ餘程惡クシテ見マスト彼レノ目的トスル所ノ……減少スルデアラウト思フ、他ノ所デ軍事上ニ海岸線ヲいやはるニ比較スレバ、其度ガ餘程減ジテ來マス、ソレ故ニ宜シイトハ申シマセヌガ、是非共茲ニ矢張山間ニ這入ラナケレバナラヌト迄極論ハシマセヌ

○政府委員(松本莊一郎君) 唯今ノ田中君ノ岡山カラ出テ居ル私設ノ出願ハ許スカドウカト云フニ御答致シマシガ、是ハ既ニ鐵道會議ニモ詢リマシテ許可シテ差支ナイト云フノ意見デアリマス

○(田中源太郎君) 今兒玉サンノ御答ニ依ルト宜イトハ言ハヌガ、止ヲ得ヌカラ仕方ガアルマイト云フ御説明ノヤウニ思マシガ、其御説明ニ依ツテ見マスト可成海岸ニ寄ラヌ方ガ宜イト云フコトハ御希望デアアルニ相違ナイ、ソレガ海岸ニ寄ラヌ方ヲ御希望デアアルトシテ見ルト、倉敷線トカ若クハ岡山線トカ——岡山線ニハあぶと式ガアルカラあぶと式ニ寄ルカ海岸ニ依ルガ宜イカト云フコトニナリマシテ、倉敷線ニ依リマシルト此あぶと式ガナイ、是ガアルニ拘ハラズコチヲ採ツテモ一向差支ナイト云フ理由ヲ一ツ承ハリタイト思フ

○政府委員(兒玉源太郎君) 陰陽ノ連絡線ニ全體三ツノ比較線ガアリマス、其中デ大體調ベマシタ所デハ倉敷線ト云フモノハ鐵道ノ建築ノ上ニ於テモ……唯岡山ト鳥取線ト云フモノハ稍、比較ニナツテ居ツタ所ガ岡山線ト云フモノニハ御承知ノ通りあぶと式ガアル、唯今ノ私設ノ願デゴザイマシルトあぶと式ガナイト云フコトデアリマシガ、茲ニ調査ヲシテゴザイマスノハあぶと式ノアル調査ニナツテ居リマス、ソレニ比シテ是非此あぶと式ガアツテモ山ノ中ニ入レナケレバナラヌトカ、又工費ハ幾ラ増シテ居ル、又鳥取カラ堺

港迄ハ幾分カ第二期ノ豫定線ヲ補助スルコトノアルニモ拘ラズ是等ノ諸點ニ比較シテモ山ノ中へ入レナクテハナラヌカト云フコトヲ較ブルト、ソレハサウ迄山ノ中へ入レナクテハナラヌト云フ迄ニ固ク取ラナクテモ宜シイト云フヨリシテ、大部分ハ鐵道其物ノ經濟ノ方ニ多ク傾キヲ取ツテ、鳥取線ト云フモノ、決定ヲシテ次第デアアルノデアリマス、序ニ御答ヲ申シテ置キマシガ、大津淳一郎君ノ……起點トシテ置ケバ軍事上ニ於テ大砲ナリ水雷艇ナリ此鐵道ヲ運搬ヲスルノニ室津ト云フ港ニ僅ナ棧橋ヲ架スレバ宜シイ、大變ナ利益ガアル便利デアルト斯ウ云フ御意見デゴザイマシガ、全體デ大砲ナリ水雷艇ナリヲ送り出スト云フモノハ、孰レノ所カラ送り出スカト云フコトノ考ヲ持チマス、是ハ必ズ水雷營ノ在ル所若クハ倉庫ノ在ル所ヨリ運搬ヲスルノデアアル、シテ見ルト若シ送り出スモノニ用井ルトシテ見レバ吳ノ水雷營吳ノ兵器庫カラ繰出スモノデアラウト考ヘマス、シテ見マシルト吳カラ更ニ此室津迄持ツテ來マシテソレカラ龍野迄或ハ鐵道ガ將來出來マシカ、只今ノ所デハ何カアノ……ヲ持タヌデ往カナケレバナラヌ、サウ云フ不便ヲスルガ宜イカ、ソレヨリハ却ツテ遅レルモノトスレバ吳ナリ若クハ吳ノ鐵道ノ著カヌ先ニハ三原ナリ尾ノ道ナリ極ク海ノ積卸シノ便利ノ宜イ所デ積ンダラハ如何デアラウカト考ヘマス、又果シテ此水雷艇ガ今ノ有様ニ就イテ積ミ得ルヤ否ヤト云フコトハ少シク私モ御返事ガ致シ惡ウゴザイマシガ、全體デ此處ニ述ベテゴザイマシヤウナ御便利ハゴザイマシマイト自分ハ信ジマス

○(田中源太郎君) モウ私ハ此點ニ對シテ意見ハゴザイマセヌ

○(名倉次君) 兵事上ノ御話ガ出テ居リマスガ、大體鳥取櫻井迄海岸ニ沿フテ居ルノガ惡イトカ、ソレ故ニ倉敷線ハ取ラヌトカ議論ガアルノデスガ、其議論ガ私共ニハ分リマセヌガ、堺港ト云フモノガ軍事ニモ必要ガナケレバ……必要ガナイト思ヒマシガ、一體堺港ハソレ程軍事上ニ必要ナ港デスカ、御尋ヲ致シマス

○政府委員(兒玉源太郎君) 唯今デハアスコニ軍港ヲ置クト云フヤウナ地點ニハナツテ居リマセヌ、又ソコデ大キナ上陸ヲ爲シ得ル地點トモ考ヘマセヌ唯アノ邊ヲ歩ク船ガ寄ルダケノ港デアラウト考ヘマス

○委員長(佐藤里治君) ソレデハ是モ一讀會ヲ……大體ヲ可トスルコトニ致シマス、次ニ長野縣下篠ノ井ヨリ松本ヲ經ル鐵道此議事ニ移リマス

○(田中源太郎君) 是ハ敷設法案ノ改正法律案ガ先キデゴザイマセウ

○委員長(佐藤里治君) 一期ニ線上ゲルト云フノデス、順序ハサウ往カナケレバナラヌ——此何ヲ先キニ議シマス、上ノ方ヘ往クノガ順序ノ様デス、敷設法中中央豫定線ノ中長野縣下長野若クハ篠ノ井ヨリ松本ヲ經テ第一項ノ線路ニ接續スル鐵道、九州豫定線ノ中熊本縣下宇土ヨリ八代ヲ經テ鹿兒島縣下鹿兒島ニ至ル鐵道、此法律ノ改正案ヲ議シマス、第二期線ヲ第一期ニ線上ゲルト云フ方デス

○(田中源太郎君) 一寸此改正法案ニ就イテ御尋ヲ申シマスガ、此篠ノ井

松本線第一期線ニ線上ゲルト云フコトハ、是全ク先刻松本サンノ御答ノ如ク中央線ヲ……スルニ就イテ最モ急ヲ要スルコト、云フコトデ、一期線ニ線上ゲルト、思ヒマス、併シ九州鹿兒島線ガ他ノ二期線中ノ既定豫定線ニナツテ居ルガ先ツ之ヲ線上ゲルノガ最モ必要ナルト云フ理由ヲ大体伺ヒタイト思ヒマス、尤モ之ヲ線上ゲニナツタノハ一方ノ十二箇年五百萬圓ト極ツテ居ルノデアリマスケレドモ、其一期線中ニ私設ノ請願ガ澤山出タモノデアルカラ……併シ是ハ急ニシナケレバナラヌト云フダケノ理由ヲ一應伺ヒマス

○政府委員(松本莊一郎君) 唯今ノ田中君ノ御尋ニ御答ヲシマスガ篠ノ井線ノ方ハ先ニ申上ゲタ方デ分ツテ居ルトノコトデゴザイマス、鹿兒島線第一期ニ入レヤウト云フコトハ、是ハ昨年ノ委員會ニ於キマシテ段々御調査ニナリマシタ時ニモ既ニ鹿兒島線ト岩越線ト云フモノハ敷設ニ急ヲ要スルモノデアルト云フコトヲ御決シニナツテ、一期ニ線上ノコトヲ既ニ委員會ノ修正中ニハ出來テ居ツタ位デアリマス、ソレカラ政府ニ於キマシテモ彼全國鐵道線路調査ノ事業ノ一部分ト致シテ段々是等ノ線路ヲ取調ベテ見マシタ所ガ、其委員會デ段々議論ノアツタ時分ニ如何センドシナモノカト云フコトガ一向分ラナカツタ所ガ、其後ノ委員會ノ調査ノ結果デ成程相當ニ六ヶシイ所モアルケレドモ、工事ハ十分施シ得ラル、モノデアアル、詰リ其比類ハ此位ナモノダト云フ様ナ見込モ附キマシタ上、此線路ハ九州ノ縱貫線ノ一部分トシテ、是ハ陸軍ノ政府委員カラモ述ベラレマスデゴザイマセウガ、頗ル軍事上大切ナモノデアリマスト云フコトデゴザイマスカラ、成ルベク早く敷設ヲ致スベキモノト認メテ居ルノデゴザイマス、ソレ故ニ既ニ斯ノ如ク調査ヲ一通リ終ヘマシテ、ドウ云フ線路ヲ取ツテドウ云フヤウニ敷設シ得ラル、ト云フコトガ分ツタ以上ハ最早第一期ニ線上ゲベキモノデアアル、線上ゲル必要ガアルト信ジテ此案ヲ出シタ譯デゴザイマス

○委員長(佐藤里治君) 是ハ別ニ御異議ガナイヤウデスカラ一讀會大體ヲ可トスルモノト認メテ、次ハ比較線決定ノ長野縣下篠ノ井ヨリ松本ヲ經ル鐵道

○(田中源太郎君) 此長野ヲ捨テ、篠ノ井ヲ御取リニナツタノハドウ云フ理由デスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ先刻委員長ノ御手許ニ出シテ置キマシタ比較ノ表デ御覽ニナリマシテモ大體御分リデゴザイマスガ、幾通りモ此間ニハ線路ガアルノデゴザイマス、則チ長野カラ參リマス中ニモ尤モ地方デモ色々論モアリ、且ツ取調ヲ要スルト存ジマシタモノハ、犀川ノ流ニ沿ヒマスモノト大町ト云フ所ニ出テ參リマスノト大體二ツデアリマス、是モ調ハ出來テ居リマス、篠ノ井カラ參リマスモノモ幾通りモアリマス、則チ矢張犀川線ニ直ク合シテ參リマスモノト、ソレカラ猿ノ馬場ト云フ所ノ少シ横ノ方ヲ隧道デ通りマシテ、麻績ト云フ所ニ出テ、ソレカラ尙犀川線ノ方ヘ出マシテ、犀川線ニ合スルト斯ウ云フ様ニナツテ居リマス、然ルニ此大體三ツデ此他ニモ澤山アリマスケレドモ是ハ殆ト比較ノ價值ノ無イモノデゴザイマスカラ、大

体此今ノ三ツニ就イテ比較シテ見マス、篠ノ井カラ參リマスモノ此則チ一番仕舞ニ申上ゲマシタモノガ、比較上一番工事モ施シ易ク、且ツ工費モ少ナクテ出來マスル、之ヲ採ラレテ然ルヘキモノト考ヘタノデゴザイマス、是等ハ固ヨリ格別鐵道ノ經濟トカ若クハ軍事トカ云フコトニ大ニ論ズル程ノ事項ハアリマセヌデゴザイマスカラ成ルヘキタケ相當ナ建設費デ、將來運輸ニ差支ナケレバソレヲ採ルノガ適當デアルト信ズルノデゴザイマス

○(田中源太郎君) 此篠ノ井線ノ方ハ工事モ易シ、哩モ少ナイ様デスカ、勾配ノ所ハ餘程外ノハ四十分一デ、是ハ三十分一ガアル様デスカ、是ハ餘リ間ヘナイノデスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 此勾配ノ點ニ參リマストドウシテモ犀川線ニ浴ヒマス方ガ、水流ニ沿フテ居ルダケニ比較上稍宜シイノデゴザイマス、併ナガラ篠ノ井ノ方モ三十分一ハ豫測ノ結果デアリマスガ、幾分カ減ズルコトガ出來ルト云フ技師ノ見込デス、例ヘハ奥羽線ノ板谷峠ノ如キモ豫算ヲ昨年提出スル時分ニハ矢張十五分一ヲ用フル覺悟デアリマシタガ、其後建設スルニ臨ンテ精細ノ調査ヲシテ見マシタ所ガ、ソレヲ大ニ減スルコトヲ得ズシテ、唯今デハ三十分一ヲ用フル積リテ建設シテ居リマスガ、幾分カ建設スル時分ニ精細ノ調査ヲシマスルト減ゼラル見込ガアリマスガ、篠ノ井ノ如キハ其一デス、愈々四十分一ニナルカ、或ハ四十分一ニ出來ナクシテ三十分一ニナルカ、三十分一ニナルカ、ソレハ分リマセウガ、幾分カ善クナルト云フ望ヲ持テ居ル線路デアリマス、且此線路ハ他ノ急勾配ノ澤山アル鐵道線路ニ接續スルノデアリマスカラ、是ニ付イテ是ガアツタカラト云フテ、列車ノ運轉上ニハ格別差支ナイモノト信ジテ居ルノデゴザイマス

○委員長(佐藤里治君) ソレデハ是モ大體ハ可トスルコトニ致シマス、ソレカラ豫定鐵道線路中私設鐵道會社敷設許可ノ件ニ關スル法律案、東京府下上野ヨリ千葉縣下千葉ヨリ經テ銚子ニ至ル鐵道線ヨリ分岐シテ水更津ニ至ル鐵道線中千葉縣下千葉ヨリ經テ銚子ニ至ル鐵道、福岡縣下久留米ヨリ山鹿ヲ經テ熊本縣下熊本ニ至ル鐵道線中福岡縣下山鹿ヨリ熊本縣下植木ニ至ル鐵道

是ハ一寸伺ヒマスガ、此末項ニ「必要ナリト認ムルトキハ其建設費實費ヲ以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買収シ又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムルタメ相當ノ條件ヲ附スルコトヲ得」トアリマス、其建設費實費ヲ以テト云フ實費ト云フコトニナルト、ほんノ會社ノ費用ト云フ——創業ニ係ル經費ト云フモノハヤラヌト云フト、其會社ニ損害サセルト云フコトニナラナケレバナラナイ、是ハドウ云フ趣旨デスカ、唯建設ノ實費ト云フト私設ノコトデスカラ、私設ハ會社ノ創立費ト云フモノガ掛ル

○政府委員(松本莊一郎君) ソレハ一應御尤ノヤウナ御尋デゴザイマスケレドモ、矢張會社ノ幾分カ創立費ト云フ様ナモノモ此中ニ入レテ居ルノデ、如何トナレバ建設費ノ科目ト云フモノガ出來テ居ルガ、此事ヲ申セバ自ラ分ラウト思フ、建設費ノ中ニハ則チ政府ノ建設費ニ於キマシテモ線路ノ豫

測費モ這入ツテ居レバ工事ノ監督費モ這入ツテ居ル、或ハ總掛費ト申シテ其材料ノ仕入ヲシタリ計算ヲ致シタリスル様ナ費用モ這入ツテ居ル、ソレト同ジコトデ會社ニ於キマシテモ本社ヲ維持スル費用或ハ本社ヲ拵ヘル様ナ費用ハ即チ一體割當テアルベキ筈デアリマス

○委員長(佐藤里治君) 會社ニ損害ハ掛ケナイト云フコトガ、此意味ニ這入ツテ居ルノデスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 無論這入ツテ宜カラウト思ヒマス、併シ會社が一哩一万圓掛ツタトカ二萬圓掛ツタトカ不當ノ創立費ヲ勝手ニスルコトハ出來ナカラウト思フ、其等ニ就イテハ何レ細目ニ互ル明細書デモ與ヘテ、取調ガ十分出來ルヤウニシナケレバナラヌト思マス

○菊池九郎君) 是ハ成功シタル後、例ヘバ三箇年ナラバ三箇年ト云フモノハ極ク利益ガナイ、而シテ四箇年五箇年目ニナツテ段々利益ガ生ジテ來ル、サウシテ株ノ騰貴シタ場合デモ矢張實價デ買收スルト云フノデスカ、其株ノ價ニハ一向構ハナイト云フノデスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 其通りデアリマス、株ニハ少シモ構ハナイノデス、私設鐵道條例デ免許狀下附ノ日ヨリ二十五年後ニ政府ガ之ヲ買收スル場合ニ當リマシテハ、所謂株券ノ價格ノ平均ヲ以テソレニ依ツテ買フト云フ規定ガアリマスカラ、則チ時價デ買フト云フコトニナリマスガ、此方ハ始メ政府ニ於テサウ云フ條件ヲ特ニ附シテ置クノデスカラ、縱令其時ニ株券ガ上ガツテモ、ソレニハ構ハヌノデアリマス、會社ガサウ云フ條件ハイヤダト云ヘバ許サヌ迄ノ話デアリマス

○(小間肅君) 今此私設ヲ御許ニナルニ就キマシテハ、固ヨリドレニハ何レ丈ノ費用ガ要ツテ、或ハ何箇年ニスルト云フ願ガ定メテ出テ居リマスカラ、ソレハイクラト云フコトハマア分ル、サウスルトソレヲ御許ニナルニ就イテハ一箇年ニドレ程丈ノ全體ニ對シテ工事ノ費用ヲ要スル丈ノモノハ許スト云フ御見込ガ立ツテ、御許ニナルノデアリマスカ、ソレハ無制限デ一箇年ニ千萬圓デアラウガ五千萬圓デアラウガ差支ナク許ス、斯ウ云フノデアリマスカ、之ヲ一ツト、果シテ制限ヲ立テ、餘リ國家ノ經濟ニ影響スル様ナ時節ハ許スコトハ出來ヌト云フ時ニハ私設ヲ許スニ就イテドウ云フ法ヲ示シテ、是丈ヨリ後ハスルコトハナラヌト、何ゾソレニ制限ヲスル方法ガアルノデアリマスカ、ソレトソレカラ同ジ建築費ヲ一箇年ヲ一箇年ニ要スルト云フテモ其中ニ或ハ外國ヘ仕拂ヲスルノハ何レ迄迄ノモノハ許スト云フ見込ガアリマスカ、其制限ニ對シテモ日本ニ仕拂スルノト、外國ニ仕拂スルノト、見込ヲ立テテ經濟上御調ニナツタ上ニ何ゾ制限ヲ設ケテ御許ニナルノカト云フコトヲ伺ヒマス

○政府委員(松本莊一郎君) 小間君ノ御尋ハ私設鐵道ノ敷設ヲ許可スル時分ニハ其時分ニ日本デ使フモノト外國ヘ仕拂フモノトノ引別ケヲシテ、制限カ何カアルカスフ云フ御尋デスカ

○(小間肅君) 其一箇年ニ支出スル丈ノモノヲドレ丈マデノモノヲ許シテ遣リマスカ、幾ラデモ此許ス丈ノモノハ制限ヲ問ハズ許スカスウ云フノデスカ其制限ヲ問フニ於テハ外國ニ仕拂スルノト、日本ニ使フノトノ區分ハドウカト云フノデスカ

○政府委員(松本莊一郎君) ソレハ昨日モ一昨日モ申上ゲタト思ツテ居リマスガ、其制限ト云フモノハ別ニ立テナイノデゴザイマス、其事ニ就キマシテハ此間申上ゲタ様ニ鐵道會議ニ於テモ種々審議ヲ盡シマシタケレドモ、如何セン其制限ヲ立ツルト云フコトハ實際ニ於テ出來得ナイ話デアル、況鐵道事業ノ外ニハ何モ外國カラ物品ヲ購入スル事業ガナイトカ、或ハ此鐵道ノ外ニハ日本ニ於テ他ニ資本ヲ下シテ仕事ヲスルコトガナイト云フナラバ、之ニ就イテ何トカ制限ノ立テ様モ或ハ出來ルカモ知レマセヌガ、百般ノ事業ノ中デ最モ鐵道ガ資本金額ヲ餘計要スルトハ申シナガラ、隨分其制限ト云フモノハ六ケシイコトデアリマス、自ラ實際本免許狀デモ遣リマシテ、其拂込ノ季節杯ヲ定メタ後ニハ凡ソ一箇年ニドノ位使フダラウト云フ大體ハ分リマスガ、經濟社會ノ許ストキニハ拂込ハズんくシテ來ルモ、亦經濟上ノ狀況ガサウ行カナイトキニハ隨分中ニハ自分ノ株券ヲ取上ゲラレテ公賣ニセラレテモ拂込ガ出來ヌト云フモノモアリマスカラ、豫メ來年ハイクラ拂込マセル、又ハ外國品ハイクラ購入スルトカ云フ様ナコトヲ定メテ置クト云フコトハ實際ニ於テ到底出來ナイコト、考ヘルノデアリマス、制限ヲ附スルト云フコトハ今日ニ於テハ別ニ手段ハナイト信ジテ居リマス

○(小間肅君) モウ一ツノ或ハ日本モ外國モ混ジテ工費ヲ要スルノデアリマスカ、一箇年ニ或ハ私設ノ許スベキ鐵道ト見レバ一箇年ニ五千萬圓デモ一億萬圓デモ工事ヲスル丈ヲ御許ニナルノデスカ

○政府委員(松本莊一郎君) ソレハ縱令此方ガ許サウトシテモ向フガ出テ來ヌノデアリマス、既ニ御話申シマシタ通り今日大變出願者ガアル様デアリマシテモ、假免狀ヲ下附セラレタモノ或ハ許サントシテ居ルモノ迄皆合セテモ七千何百萬圓位ニシカナラヌノデスカ、ソレガ一年ヤ二年ヤ三年ニ出來ル工事デハアリマセヌカラ、サウ一年ニ五千萬圓モ一億萬圓モト云フコトハアリ得ナイコト、思マス

○(望月右内君) 此尻ニ附ケテアリマス官設デヤリマストキニハ無論國防上トカ云フコトモアリマスカラ、一國全軀ノ上カラ國ノ利益ノタメニ造ルノデアリマスカラ、建設費デ買上ゲルト云フコトモ規定シテ置カナケレバナリマセヌガ、此會社ハ何カラ起ルカト云ヘバ、營利上カラ起ツテ居ル、會社モ政府デヤルノモ同ジニスルト云フハ不穩當ト思ヒマス、是ハドウ云フ譯デ政府ト營利ノ爲ニ起ル會社ト同一ニ規定シテ置カヌナラヌノデアリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) ソレハ營利デ起ル會社ト云ヒナガラ、カウ云フ條件ヲ附ケテ置カヌトソレト相通ジナケレバ會社ニ於テ此見込ガ立テ兼ネルト云フコトガアルカ知リマセヌガ、買收上ニ於テ是等ノ線路ハ尤モ合直

チニト云フデハアリマセヌガ、將來ドウシテモ軍事上ノ方ニモ餘程必要ト云フノデアル、此線路ハ切レ、ミノ線路ヲ以テ居リマス、其線路ハ續イテ居ツテモ所有權ガ別ニナツテ居リマスカラ其別々ニナツテ居ルヨリハ通シタモノニシタ方ガ便利デアリマスカラ、成ルベクタケハ豫定線ノ一方ニシタ方ガ必要デアリマスカラ、私設會社モ一ツノモノニシテ置キタイト云フ所カラ出タノデス

○(田中源太郎君) 一寸御尋致シマスガ、條件ガ餘程無理ナコトカト思ヒマス、今望月サンノ云ハレタ如ク他ノ會社ニ賣渡スト云フハ隨分無理ナ條件ノ様ニ思ヒマス、確カ歐羅巴カ何所カニアリマシタガ、利子ヲ以テ賣渡シ買入ル、例ガアツタ様ニ思ヒマスガ、利子ヲ以テ價值ヲ立テ、鐵道收益ガ例ヘバ四朱アルトカ六朱アツタラ即チ百圓ノモノハ百五十圓、八朱アレバ百圓ノモノハ二百圓ニシテヤルト云フ様ナ例ガアツタ様デアリマス、之ヲ特別ニシテ是ダケノ條例ヲ付ケテ、又許サヌナラヌト云フニ至ツテ見ルト、詰リ云フテ見ルト、豫定線ノ中デ私設ニスベキ線デアル、國家デ持タヌナラヌ線デアル、其中ノ幾部分ノ則チ旨イ益ノ上ガル所ニ限ツテ殘スト云フ選擇ヲ許スノデアルカラ是ダケ條件ヲ設ケルニ違ヒナイ、ソレヲ茲ニ制限シテ置クト云フハ無理ナコトデアリマスガ、ドウ云フ譯デアリマスガ、又利子ヲ積ツテ正當ノ價格ヲ積ルト云フコトハ出來ナイノカドウデアリマス

○政府委員(松本莊一郎君) 今田中君ノ利子ヲ積ツテト云フコトハ英吉利ノ鐵道買收法ノコトデアラウト思ヒマス、ソレハ三箇年ノ間ノ純益ニ二十五ヲ掛ケタルモノヲ以テ買フコト云フコトノ法律ガ出來テ居ル、併シ其法律ハ實施シナイデ、唯法律ガアルト云フニ止ツテ居ル様デアリマスカラ、ソレハ二十五倍ト云フノハドウ云フコトカト云フニ四分ニ當ルモノデアルト云フコトデ、サウシテ貫ヘバ四分ノ利アル鐵道ヲ以テ居ルノト違ハヌト云フノデ、ソレハ既ニ許可ヲ得テヤツテ居ル鐵道ヲ買收スル時ニ於テノ場合ヲ規定シタノデアリマス、カウ云フ條件ヲ附スルト云フコトヲ法律上ニ極メテ、其條件ニ應ジヤウト云フ時ハソレニ許スト云フノデアリマスカラ、全ク特種ノ場合デアリマス、別ニ差支ノアルコト、ハ思ハヌノデゴザイマス

○(田中源太郎君) 二次會ハ別段異論ハアリマセヌ

○委員長(佐藤里治君) 一次會ハ此儘ニシテ、ソレカラ其次ノ新潟縣直江津ヨリ新發田ニ至ル鐵道外八項此議事ニ移リマス

○(田中源太郎君) 總テ異議ナシ

○委員長(佐藤里治君) 是モ大躰可ト認メマシテ、其次ノ新潟縣新瀨ヨリ福島縣若松ヲ經テ白河本營ニ至ル鐵道外二項

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(佐藤里治君) 是モ可ト致シマス、サウ致シマスト政府提出案ハ是デ仕舞ニナツタ様デアリマス

○(田中源太郎君) ソレカラ公然托サレタノガ、加賀美君ノ提出案デス

○委員長(佐藤里治君) サウデス、其次ノ議員提出ノ分デ、岡山縣岡山ヨリ津山ヲ經テ鳥取縣境ニ至ル、鐵道是ハ先ノ姫路ヨリ云々ト云フモノト連帶シテ議シタモノト致シマス

○(望月右内君) 一讀會ニ姫路線トナレバ岡山縣ハ消滅シタ様ナコトニナルノデアリマスガ

○委員長(佐藤里治君) サウデス、ソレカラ此時岡又左衛門君ノ改正案、京都府ト舞鶴ヨリ福井縣小濱及敦賀石川縣金澤ヲ經テ富山縣富山ニ至ル鐵道及本線ヨリ分岐シテ石川縣七尾ニ至ル鐵道

(異議ナシノ聲起ル)

○委員長(佐藤里治君) 異議ナシト決シマス、ソレカラ鐵道敷設法改正案ノ加賀美嘉兵衛君ノ新潟縣下新津水原、又ハ新發田ヨリ福島縣下若松ヲ經テ白河本宮近傍ニ至ル鐵道、新潟縣下新發田ヨリ山形縣下米澤ニ至ル鐵道

○(加賀美嘉兵衛君) 一寸一言申シテ置キタイガ、諸君ノ御手許ニ參ツタモノガ二ツアルガ、一ハ十七日ニ一ハ十八日デ、十七日ノハ今參ツタノデ……ソレニ就イテ一言シテ置キタイガ、是ハ大變工合ノ惡イ話デ、十七日ノ先キニ出シテ仕舞ツタ後トデ、十八日ニ出ス必要ヲ心附イテ出シタノデ、最初カラ二ツ出ス積リデナカツタカラ詰リ重複ニナツテ居ル、之ヲ當委員會ニ於テ兩方ノ案ヲ付託サレテ審査スルトナツタ以上ハ、双方合シテ一ニシタ方ガ宜イト思ヒマス、又法律トシテ發布スルニモ同ジ改正案ヲ二ツ公布スルハ可笑シイカラ一ニシタイト思ヒマス

○委員長(佐藤里治君) 十七日ニ出シタモノニ就イテ議セバ宜イノデスカ

○(加賀美嘉兵衛君) 其方ガ宜シウゴザイマセウ

○(田中源太郎君) 此加賀美外四名ヨリノ提出案ノ十七日ノ分ハ既ニ政府案トシテ二期線ニ線上ゲルコトガ出テ居リマス、其二期線中分立サル、加賀美君ノ十八日ノ提出案ガアリマス、此十八日ノ提出案ハ一次會ハ大体ハ贊成デアリマスガ、十七日ノ分ハスツカリ廢棄スルコトニ致シタイ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(佐藤里治君) ソレデハ田中君ノ動議ニ御贊成ノ諸君ハ起立ヲ舉手者 多數

○委員長(佐藤里治君) 過半数デアリマスカラ、是ハ一次會デ、否決ヲ致シマシタ、次ニ二十八日ノ分ハ……

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(佐藤里治君) ソレデハ宜シイ

○(田中源太郎君) 一次會ハソレデ濟ミマシタカラ

○委員長(佐藤里治君) ソレデハ一次會限リテ休憩ヲシマセウ

○政府委員(鈴木大亮君) 一次會ノ濟ンダ所デ一寸御願ガアリマスガ、ドウカ早ク御決定ヲ願ヒマシテ、明日ノ議事日程ニ上ルコトヲ御忘レノナイヤウニ願ヒマス

○委員長(佐藤里治君) ハアソレハ承知致シテ居リマス

午前十一時五十三分休憩

明治二十七年五月二十二日印刷

明治二十七年五月二十三日出版

衆議院事務局

印刷者 印刷局